

【賛成多数（一部反対）で可決された議案】

議案番号	議案名	概要	賛成しなかった議員
議案第18号	津市幼保連携型認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部の改正について	津市立芸濃こども園を新たに設置することによる所要の改正	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 竹下 幸智子議員》保育園は身近な地域で充実させることが大事である。1号認定の子どもと2号認定の子どもを240人も一緒に教育・保育するのは一人一人に行き届いた対応ができないのではないかと懸念が広がることから反対する。		
議案第19号	津市国民健康保険条例の一部の改正について	国民健康保険法施行令の改正に伴い、同令に規定する保険料の賦課に関する基準に合わせた基礎賦課限度額の改定を行うほか、保険料減免措置を見直すことに伴う所要の改正	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 竹下 幸智子議員》今回は、基礎賦課限度額ではあるが、負担増につながることから反対する。		
議案第43号	平成31年度津市一般会計予算	子育て支援施策や幼児保育環境の充実、教育関係事業に関する経費、健康づくりや地域医療体制の充実のための経費、福祉関係事業に関する経費、防災機能強化や消防関係事業、防災事業などの安全なまちづくりの推進に関する経費、環境関係事業や生活基盤の整備事業に関する経費、生涯学習の推進やスポーツ・文化の振興や市民活動の推進に関する経費、農林水産業や商工業および観光の振興事業に関する経費等 1146億5340万1000円	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子 岡村武（拒否）
	《反対討論 日本共産党津市議団 竹下 幸智子議員》市長の施政方針では「笑顔があふれ幸せに暮らせる県都津市」と述べられているが、予算に占める暮らし、福祉、子育て支援に関わる予算の割合が低く抑えられている。健康診断のさらなる受診率の向上、予防接種の対象拡大等、市民の命に関わる予算はもっと増やすべきである。また、シルバーエミカについては、マイナンバーカード取得者に限られるなど、行政としての公平性、公正性に欠ける。保育園は待機児童をなくすために公立の保育園を増設し、それに見合う職員を採用すべきである。これらの施策にもっと予算をつけるべきとの理由で反対する。		
議案第44号	平成31年度津市国民健康保険事業特別会計予算	賦課徴収事務等の経費、保険給付費、国民健康保険事業費納付金、特定健診関係事業経費等 280億3562万6000円（事業勘定）、一般事務費、薬品費等 5932万6000円（直営診療施設勘定）	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 竹下 幸智子議員》全国知事会や市長会からも、国費1兆円を投入し国保料の引き下げを求めている。子どもを含む均等割と、一世帯当たりの平等割が掛かってくるが、せめて子どもの均等割は即刻なくし、払える保険料にすべきとの理由で反対する。		
議案第45号	平成31年度津市介護保険事業特別会計予算	賦課徴収事務費、介護認定経費、居宅介護サービスなどの保険給付費、地域包括支援センター運営委託料等の地域支援事業経費等 283億8052万円	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 竹下 幸智子議員》高すぎる介護保険料は高齢者の暮らしを圧迫しており、市民アンケートでも「保険料を減らしてほしい」という声が多くあった。介護認定を受けていても介護保険サービスを使っている方は少ない。保険料の財源をどうすべきか考えていかなければならない。低所得者の負担軽減を図るべきとの立場から反対する。		
議案第46号	平成31年度津市後期高齢者医療事業特別会計予算	徴収事務費、後期高齢者医療広域連合納付金等 64億2114万1000円	滝勝弘、竹下幸智子 藤本ともこ、長谷川幸子
	《反対討論 日本共産党津市議団 竹下 幸智子議員》この制度は、75歳という年齢ですべての医療保険制度から排除し、医療を区切るものであり、廃止すべきであるとの立場から反対する。		